

インフルエンザワクチン予防接種



受付時間: 午前 8:30~11:30 午後 14:00~17:00

ワクチンは接種後すぐに効くわけではなく、2週間ほどで抗体がつくられ時間とともに徐々に低下します。高齢者や基礎疾患のある方は、流行期に免疫が十分に残っていることが重症化の予防につながります。インフルエンザワクチン注射は不活化ワクチンです。インフルエンザワクチン注射で、インフルエンザに罹患することはありません。ワクチンの一般的な副反応は注射部位の赤み・腫れ・痛み、倦怠感や発熱などです。通常は2-3日で消失します。

※予防接種は診察と同時に行っていますので、混み合っている場合は、待ち時間が発生することをご了承ください。

※受付後、問診票の記入していただき、その後、診察室で接種となります。

スマートフォンのマイナ保険証利用について

受付



スマートフォンをマイナ保険証として
ご利用できるようになります



2025年9月19日から

機器の準備が整った医療機関・薬局で順次、利用可能となる予定です

健康保険証の利用登録がされたマイナンバーカードをスマートフォンに追加することで、カードを取り出すことなく、スマートフォンをかざして、医療機関や薬局でご利用できます。
こちらのステッカーが医療機関・薬局の受付等に掲示されているかご確認ください。



※スマートフォンのマイナンバーカードを追加した場合でも、実物のマイナンバーカードは引き続きご利用いただけます。

※スマートフォンで初めて受診する医療機関・薬局では、実物のマイナンバーカードもあわせてご持参ください。スマートフォンへのマイナンバーカードの追加は任意です。

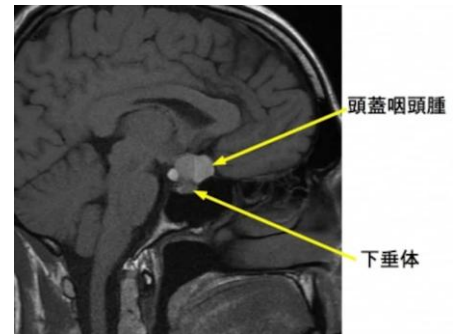
「頭蓋咽頭腫」ってどんな病気

技師

頭蓋咽頭腫（ずがいいんとうしゅ）は、脳の下（視神経や脳下垂体の近く）にできる良性の腫瘍です。子供と中高年に多く見られ、腫瘍の大きさや位置によって、さまざまな症状があらわれます。

「主な症状」

- ・視力や視野の異常（見えづらい、視野が欠けるなど）
- ・頭痛、吐き気
- ・ホルモンの乱れ（成長障害、月経異常、疲れやすさなど）
- ・子供では成長や思春期の遅れがみられることも



「検査・診断・治療」

MRI や CT で診断します。特に MRI は腫瘍の状態を詳しく把握するのに有効です。

手術による摘出や放射線治療が中心です。ホルモン異常があれば、ホルモン補充療法が行われます。検査とフォローが大切です。

再発の可能性があるため、治療後も定期的な MRI の検査が重要です。

腹巻をして体の不調をなくしましょう

看護師

腸は「健康の要」といわれ、腸の環境と体調は深く関わっています。腸を温めると、免疫力を高めることに直結し、体温が1度上がると免疫力は5～6倍アップすると言われています。

冷え性にも腹巻はとても役立ちます

手足が冷えている時に、靴下の重ね履きをする方がいると思いますが、一度、お腹を温めてみて下さい。お腹は身体の中心部で、多くの臓器や血管が集まっており、温めると身体全体が、だんだんとポカポカしていきます。

さらに、血液の巡りもよくなり、肌の調子が整ったり、むくみがよくなったりします。



冬に使うイメージのある腹巻。ぜひ、今の時期から使って、風邪やインフルエンザなど体調不良にならないように生活に取り入れていきましょう。